

バストス週報

第四二九号 昭和卅三年 六月廿九日 発行  
DIRECTOR KOITI MORI  
R. DATOR SHION ODA  
RUA PRES. VARGAS 188 C.P. 112  
BASTOS C.P.  
ANUAL C.R. 100.-

天の邪鬼 18

表彰いろいろ

五十年祭で表彰される木盃組という中には、いぶかしくかかわしい人物も居る。なると時々邦字紙が冷かしていたが、こゝろと発表されて見ると、なるほどと思われ。るような人物がのつて、いる。表彰されたり運動したり、委員会へ事前工作をしたりなど、と云われ、所以であらう。表彰には表彰の規定があり、その枠内で審議するのだから、全然未知の人が、未知の相手と審議するのだから、規定には、まる様な美辞佳句がならべ、あれば、一応とらざるを得ないだらう。だが完全な審議でなかつたとは云える。

バストス三十年祭の場合、と云うのでバストス三十年祭の場合では、よほ慎重にかたえ、後日論議のタネに、ちがいない推薦振りであらう。勿論バストスの表彰組はバストスを中心として、の観察であるから、それが直接社会に貢献したとか裨益したとか云うことは、おのづから問題が別になると思はれる。試みに左に列記する方々に、いいてバストス在任諸士の批判を仰いで見よう。人さまざま、どう御感じになるも自由であるが、二十年三十年、黙々として一業一職に懸けた生活の息吹は、脈々とした生命の鼓動としてバストス人へのほのほのとしたものを感じさせる。

- 公職十年組 中央坂本真芳さん、田中聖さん
- 市川清佑さん、F区白須千之助さん、ホ
- ンソン佐藤金作さん
- バストス養鶏元祖渡辺武助さん、横
- 的養鶏業者吉田与三吉さん
- バストス西風元祖風向啓藏さん、竹
- 魚恵さん
- ホンカン功労者藤原久次郎さん(在日本)
- 上西恭治、山中三郎、雨氏
- 養鯉始祖大野清一郎さん
- 牧畜では前田甚吾さん
- 野菜では新津牛丸さん
- 工場では草野若吉さん

Apparatoario Imperial



入植祭にまにあわせす  
なるべくお早く... 丸山洋服店

祝 日本移民五十年祭  
祝 バストス開植三十年祭  
あふれる元気で  
これからも...



わかもと  
wa ka mo to

わかもとは 活力のもと  
胃腸の弱い方 老年の方 若い方にも 日本にわかもと  
伯國総代理店 聖市パウリス製菓会社  
C.F. 3656

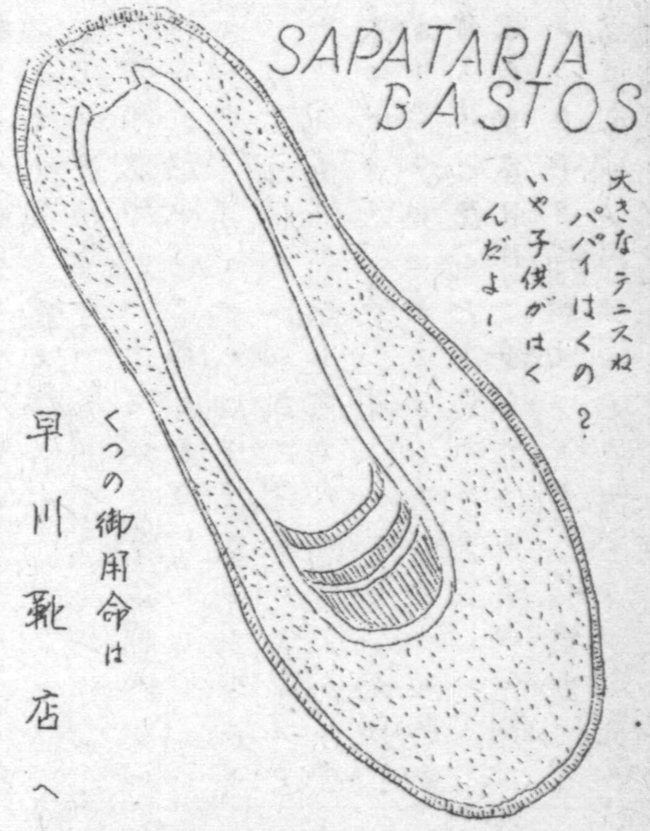
○ 教育では藤原入重子さん、トナオンジーナ  
○ ユーカリ王 霜土静ニさん  
○ 文化体育功労者 西徹さん  
○ 外に感謝状を贈られる人に宮坂国人氏、加藤好之氏、畑中仙次郎氏、豊田トール、エレナ、ペレグリーニ氏、畑中忠雄、市長等がある。これらは、いづれ正式発表があると思ふが、今茲に列記したものは、委員会からの発表ではない、表彰することの、いかにむづかしいものであるかを知らされたの、話の順序として記したものである。飼育の飼育を云えば、蚕を一ばん始めに飼ったから、それが何故えういかに、絹織物を一番先きに売出し出したからと、ういへん。

いか。とかうんでくる人もあろうが、バ  
 ストスの合度、表彰は、そういう理窟を  
 ぬきにして、結果から見てバストスを死  
 守したことになる人、それがその人の意  
 図であらうと無かろうと、審査のスポッ  
 トしとあてる試案を、たのだから仕方が  
 ない。

ホシカンそうとう

バストスの新産業にホシカンがある。  
 永年産作物を植えなければ、バストスの将  
 来を思いやられると畑中仙次郎老が、ま  
 がい(い)のようになつて、相橋組合を作  
 り、五ヶ年計画でホシカン二十万本定植と  
 唱導したのは、みなさんの記憶にまだ新  
 しい。若、此の提唱に、二十万本は植わ  
 ったろうか、二十万本に手が届いたかど  
 うか判らぬうち、バストスほんかん熱は  
 畑中さんの意図とは別な方面に、意外な  
 動きを見せ、パラナ州は勿論、リオ州、ハ  
 ラー州、最近では新首都ゴヤニアに迄ホ  
 シカン苗が輸出され、全伯のホシカンに  
 看板をぬりかえつつある。バストスだけ  
 のホシカンに止めたか、畑中さんは、ここ  
 に新産業に関する認識を是正しなければ  
 ならぬ様な結果になつてしまつた。考  
 え、よ、に、ま、つ、て、は、一、バ、ス、ト、ス、に、拘、わ、ら、ぬ、  
 大産業の唱導者という栄冠を贏(か)ち得え  
 たことになり、これは寧ろ大功績だ、た  
 ことなるのではあるまいか、

と、こ、ろ、で、ホ、シ、カ、ン、は、だ、れ、が、フ、ラ、ジ、ル、へ  
 もつて来たのたろうか、昭和四年第一回  
 入植組の和歌山桑原次郎氏がホシカ  
 シ苗二本を行李に藏(かく)して、もつて来たもの  
 が、そももの始まり、ところが竹次郎翁  
 は、日伯間往復病(へ)と、いう奇癖のある  
 方で既に一昨年迄に七往復をマルカする  
 するといふ豪の者である。クロリア区  
 の和歌山桑原地区に、持参のホシカン苗を植  
 えた途は、頗る頓調(とんじょう)に、たが、結実しないう  
 ちに、第一回の日本帰りをやつたので、あ  
 われや、オルソンとなつたホシカン君、  
 たちまちサウバーに、噛まれ一本は枯死他、  
 一本も一枚をのこして、命(いのち)懸(か)かに追つた。  
 ここに上西君という美青年が登場する。  
 同じ和歌山出身なので、瓜(うり)のたより、之  
 を知り何とか、この珍らしい品種を再  
 生させたいといふので、このた一枝を接  
 穂に貰(もら)い受け、苦心辛勞の結果、数十本の  
 ホシカン苗を作つた。桑原さんの志を、  
 い、だ、わ、け、で、あ、る、上、西、さ、ん、は、ホ、シ、カ、ン、再、  
 生の恩人のわけで、桑原さん、思(おも)いつさも  
 必要だつたが、瀕死の一步手前、これを  
 救つて苗木として、教人に分けたことも、  
 これ亦(また)せ、たいに見のがすこと、の、き、ぬ  
 功績であつた、と、こ、ろ、が、この苗木が、  
 散(ち)り、あ、ち、ち、ち、の、こ、つ、た、が、果樹園  
 と、し、て、い、く、ら、か、で、も、残、存、せ、し、め、今日、  
 お、そ、の、樹、令、の、古、さ、を、ほ、こ、り、毎年大賑(おほご)を



出荷して、いる篤農家がある。畑中さん  
 が、数年、これに着眼して、ホシカン、栽植奨  
 励のヒントを得たのは、実にこの篤農家山  
 中三郎のホシカン園に、夏(なつ)うと、こ、ろ、が、多、い、  
 ころ、い、う、曰、く、の、あ、る、ホ、シ、カ、ン、新、産、業、で、  
 ある、今日、バ、ス、ト、ス、ホ、シ、カ、ン、の、名、は、聖、市、  
 市場に、名高く、西、氏、と、共、に、バ、ス、ト、ス、産、業、  
 を、政、府、に、荷、な、つ、た、觀、の、あ、る、日、こ、れ、が、功、  
 労、者、を、表、彰、し、よ、う、と、委、員、会、が、目、を、つ、け、  
 の、は、當、然、だ、が、こ、こ、に、ほ、ん、と、う、に、美、い、  
 と、思、わ、れ、る、の、は、(桑原さん)は、日、本、に、居、る、  
 の、で、別、だ、が、こ、の、功、労、者、を、た、ら、が、そ、ろ、つ、て、こ、  
 の、榮、譽、を、辞、退、し、僕、は、木、を、接、い、だ、け、だ、  
 と、い、い、新、植、え、て、も、う、け、た、途、と、い、つ、て、  
 功、を、ゆ、り、合、つ、た、と、云、う、話、だ、あ、る、一、産、  
 業、に、一、人、表、彰、の、建、前、だ、が、丁、史、的、な、物、語、り、  
 か、り、例、を、破、つ、て、三、人、表、彰、の、形、を、と、つ、た、委、  
 員、連、の、処、置、に、も、頗、る、好、感、が、も、た、れ、る、こ、  
 し、た、る、手、柄、も、な、い、の、に、お、し、か、け、む、こ、の、如、  
 く、売、り、込、ん、だ、手、合、の、証、と、比、べ、て、ゆ、か、し、  
 い、と、思、わ、れ、る、ホ、シ、カ、ン、そ、う、た、う、の、お、粗、末、。

二十年勤続

一口に二十年といふけれど、半生を、一社  
 に、奉、仕、す、る、こ、と、は、容、易、な、業、で、は、な、い、。市、  
 川、イ、ト、さ、ん、が、夫、の、清、佑、君、と、バ、ス、ト、ス、へ、  
 つ、て、未、だ、の、は、ま、だ、キ、メ、の、コ、マ、カ、な、若、妻、の、  
 時、で、追、分、や、小、唄、の、美、声、を、き、か、せ、て、ま、わ、が、  
 れ、た、も、の、で、あ、つ、た、  
 半、ズ、ホ、シ、カ、ン、の、崎、田、少、年、が、フ、ラ、マ、ク、事、務、所、  
 に、入、つ、て、皆、か、り、リ、コ、ウ、な、子、だ、と、ほ、め、ら、れ、た、  
 の、も、つ、い、き、の、う、の、事、の、よ、う、に、眼、に、浮、ぶ、が、  
 孫、を、も、ち、予、供、を、も、つ、て、頭、髪、に、霜、を、お、く、  
 昨、今、で、は、一、務、に、精、勵、し、て、倦、む、こ、の、な、い、  
 結、勤、な、線、が、顔、を、隈、ど、つ、て、い、る、よ、う、に、も、思、  
 わ、れ、る、  
 表彰される人は、スポットをあてても立  
 派だが、あてなくても価値に衰(おとろ)ひは、  
 ない。日本の農村を見よ、代々農に生(な)き、農に  
 励(こ)んで、日本の食糧を供給している、何(なん)十、  
 万の人達、彼らは、かつて日本の国(くに)から、日本  
 の同胞(どうぼう)から、感謝(かんしゃ)され、た、であ、ら、う、か、  
 (桑原)

# CASAS PERNAMBUCANAS

Onde Todos Compram

Bastos: Rua Pres. Vargas n. 327

(defronte a rodoviaria)



## カーザス・ペルナンブカナス

祝 バストス三十周年祭典

お祭りのご用意に、パンノのお祝いは  
新柄 そろいの当店から！  
色のさめない、そーて安価な  
当店の製品

いよいよ おさむくびりしました  
フランネル モーフ のごよういはい？  
入植祭においでになるお客様に新しい毛布！  
ビジャマには フランネル

## バストス 草分會活動開始？

バストス第一回入植三十周年組を中心とするバストス草分會では、来る七月十八日より二十日迄の入植祭に、入植当時共に辛酸をなめた故友であり、ニちに四散している人たちを招き、懐旧談をやろうと葉をねっている。

それらの人の中には、バストスにも行きたいが泊るところがないと困ると思つて居られる方もあろうと草分會では、コチア倉庫の二階を宿舍に当てる。招待を受けられた方（新聞に名のついている方に申しあげらる。

去る六月廿三日草分會世話人は入植祭前の七月十四日午後一時に三十周年組の總會を開くこととを協議した。折角三十周年バストスにがんばったんだから、せめて何かバストスの為めになるような仕事をのこしたいものだといふのである。はじめるから勿論大したことにはできないが、卒業生に記念品を贈る位のことから手をつけ、将来は奨学資金などは実行したい、奨学舎もやりたいと大はりきりである。（集会については次号に発表）

## さすがはワセタ

歯が立たぬという言葉があるが六月廿二日、コレチア球場で行われた早大対全聖軍の試合をラジオで聞いていて、全く段ちがいのワセタにオルサン軍は歯が立たず、ヤセカ士が横綱にぶつかつて、ホンと手さきではねとけされた感じだった。

第一回（午前）早大先攻、ワセタ軍0、第二回戦は（午後二時十五分）早大先攻、32対聖軍1といふのだから、全く一方的試合だった。早大ナイフは皆バットを短くもつて、狙い打ちにたたくが、これに殆ど安打となり、ホームなど三本も四本も打つたが、たまたま、聖軍はバットを長くかまえて、打つので空振り、リベ、ホ二回戦では、6、7、8、9回に八人連三振に打ち取られて、きいていて、歯がゆい、全く歯も立たないのが、ぼんやりとしたことは、立派だった。技倆の相違、力の相違、敗れても之れに仕方がないが、自分たちの野球は大したものではないか。内省、まされはえらいものである。

第二回戦でワセタは六回と九回に得点がなかつただけで、あとは毎回得点し、少しも手加減も容赦もしない。さびさびと攻め、ホ一で堅く守る。学生野球の真価を、見せておます所がなかつた。

# 宮様の人気

すばらしかった三笠宮様御  
殿下の御訪伯

甲 「サンパウロはどうか？」  
乙 「宮様のすばらしさ、日系人より寧ろ、コ  
コの方がわいていた。宮様ブーム、  
いやブームなんて、なまやさいもんだ  
やない。ストームな、もう君、だれ  
もかれもまるで、心も身もそれと  
いって有様だ。」

甲 「宮様の御訪問は五十年祭中の圧巻だっ  
たわけだが、之れで五十年祭の意義も  
津々浦々までというわけだ、それはし  
ても宮様の御人気、人気というの、失  
礼かも知れんが、全くすばらしい。  
乙 これに目をつけた委員会も、鼻のた  
かいことだろう。伯国側でも、一般大統  
領などは、そう珍らしくないが、オリエ  
ンテの宮様とくると現代のお伽噺とい  
ったイメージを勝手につくって、トース  
イしちまうんだな。」

甲 いや、そうでもない。日本の皇室だけが  
もっている尊厳だ、ソングンといて固くし  
れば品格だらう。戦後皇室は昔とちが  
って大衆開放的になられたそうだが、  
それが反って国民との近親感を強め、わ  
れらの天皇、われわれの殿下と云うし  
た。日本国民と皇室の在り方は、親子の  
縁、伝文などという大官僚が、自分らに  
けの考えて、神様に祀って、いま、国  
民に会いたがって居られるの、ムリに  
引きはなして、いたんだ。」

乙 そうかも知れん、日系コロニアには、そ  
ういふ開放感が、何と居るだろうか、ブ  
ラジル人側は、そんな点全く白紙だよ。  
ある記者が殿下は日本の皇族であり、作  
ら大学の教授だ、相だが、皇室からの給  
料だけでは食って、いけんのですかと、お  
いぶん、ぶしつけな質問をした。飛行機  
か、降りてこられた直後のインタビューに  
ない。丁度、史学の興味をもっているの  
自分の研究のためにも、講師として、講  
義をして、いるので、月給が目的ではあり  
ませんと、お答になつて、いる。こうい  
った点、皇族であつたとしても、学者、君  
やあ、大した三笠宮様、記者なら、ま  
も頭がさがる。僕は、こうした三笠の宮  
の一面が、ひろく伯国の有識者の好感を  
そそり、それが、シャナリスムをどうして  
一般の、ボの興味をあふた、ものと思  
う、やはり、バックホー、が、かりし

## 廣島県人の方々に おしらせ

去る六月二十三日、西本清人氏夫妻が  
母國訪問の途につかれました。その前  
日午前十一時過ぎ、西本氏が拙宅を訪  
まれ、訪日の留守中よろしくたのむと  
て、果關係の書類を差出されましたので  
取敢ず私が一時御預かりすることにな  
りました。同氏の訪日については突然  
であつた為め、県人各位にご通告の暇も  
なかつたので、二三の方たちで相談の  
上、餞別して御見送り致しました。右の  
事情です。から、県人有志の内、書類保管  
とか、果方との連絡等について御考え  
ある方は、何卒御申越し下さい。(西本氏  
の滞日期間は一年位との事でした)

井上 孫 六



製材モノが高いので、コツケイロ  
コツケイロの音が高い  
(ねたんはお安いのです)

養蚕室、鶏舎用のカイブロ

何程でも御引受けいたします  
かみ製造所 小沢商会

甲 拝顔でされたか、ね。  
乙 偶然だつたが、真正面でおがんだ、や  
せ型で、すうりとした方、笑顔を、見せな  
いなどと、伯国然では書いて居るが、群  
衆に手を振られる時などは、やはり、  
こやかにされる。公式の時、ムッリなさ  
るのには、まあ日本人として、当然だ、ね。  
そういえば、新聞のお写真など、どれも、  
然として居られる。  
甲 全く宮様御夫妻で、二二教日、すっかり  
さうしておしまひになつた。えらいもん  
だと僕は日本を見直した。何か、こう自  
分まで、エラクなつた、よう、な錯覚を起  
しちやうとね。こんなのを、トラキッネ

524-22 53-1-2251-52

# 妃殿下の気品

## ゴリリア御訪問歓迎

ていうんだよ、きつと

柊原氏 われはあんた達とちごで特別席  
や、それもな、一番前の特等席で、恰ど  
妃殿下の真正面や、それこそ手の届く  
位の処だ。たので、いやでも応でも  
ようおがんだわ

△ どの気がしました  
柊 △ おいおい、愛な、いいがかりせんとい  
てや、わしは、たいていの婦人になくとも  
せんが、この時は、はかりは妃殿下の、ご気品  
というもんや、さアと身がすくむよう  
だった

吉浦氏 いや全くあの態度、ちやうもんは  
ほんに立派なもんですな、正面に向き  
合ったら、身がすくむ、ちやうのはほんど、す  
目千両ちやうが、妃殿下の目の色のホ  
ニトなニト、水を邊えたように澄ん  
で、何やコウゴウい、ものが登散して、トウ  
センとなつてしまえ

△ そらほつほつ始つた。(笑)  
吉浦 せりや、ほんとうです、わしは、おつと  
後、あ、だつたが、お美しいのは、云う迄も  
ないが、あの気品にうたれぬ人はありま  
すまい

柊原 われの席は、実は敬老会席の前  
も、うしろも、くしゃくしゃの、じいさん、はあ  
さんばかりだろ、皆もう感激して涙な  
が、れよる、わしか、でもようい、てくるが  
な、ああ、きれいなお方やな、あんな一  
段と高い席にお座りになつて、それ二  
そ身動さ、一つな、さっりの、ついまア  
わしも感動してな

△ 感動して、どないしました。  
柊原 妄念を拂い落した。(大笑)  
上西氏 わしと、こや、つた、ですな、柊原さ  
ん、うまいと、こや、つた、ですな

柊原 そりや、わしは、あんなら、とちごで、前日  
から、準備工作してな、当日か、三時間も前  
から、準備工作してな

上西 瑞宝章、キンシではなかつたね  
吉浦 某さんは、外で、うろろして、いたが  
いつの間にか、胸に、シラウツ、つけて、堂々  
入つて、来た

柊原 わしは、そんな事は、知らん、前の方は  
かり、見よつて、安東大使、かいな、背の  
高い、奥さん、は、柊原さん、の品、のよい  
美しい、人、や、でも、妃殿下は、肉つ、さ、が、よ  
う、て、マイ、ス、背、も、お、高、う、て、その、大使  
や、ち、と思、う、ん、や、が、何、や、は、つ、そ、り、し、ん  
と、相、な、頼、り、て、な、ア、つ、か、れて、は、た、ん、か、い、な、

上西 せう、そう、外、套、の、ボ、ル、ソ、に、キ、ッ、コ  
人、で、前、の、方、に、立、つ、て、い、た、人、が、あ、つ、た、  
吉浦、お、附、の、女、官、と、い、う、の、で、し、よ、う、な、  
三、四、人、お、見、受、け、た、が、  
柊原、あ、り、や、あ、ん、ま、り、パ、ツ、と、せ、な、ん、だ、  
△、その、答、です、よ、邪、魔、に、な、る、ん、じ、や、  
柊原、わ、し、は、あ、と、で、場、内、を、お、二、人、で、お、廻、り  
梅、さ、れ、た、ん、だ、  
上西、でも、あ、と、で、場、内、を、お、二、人、で、お、廻、り  
吉浦、手、を、上、へ、て、群、衆、に、お、応、え、に、な、る、お  
姿、も、印、象、に、の、り、ま、し、た、よ、  
柊原、わ、し、は、ま、た、目、に、ち、や、う、つ、い、て、  
椅子、に、正、座、さ、れ、て、い、る、時、と、は、こ、ろ、と、ち  
が、つ、て、笑、顔、さ、れ、た、時、の、様、子、も、う、た、し  
かに、貴、族、の、も、つ、て、お、ら、れ、る、気、品、その、も  
の、も、の、や、な、あ、  
上西、ゴ、リ、リ、や、市、中、の、商、店、の、か、ざ、り、は、ど  
う、で、す、見、ら、れ、ま、し、た、か、  
柊原、さ、す、が、ゴ、リ、リ、や、で、す、わ、日、本、の、き  
もの、を、飾、窓、に、か、ざ、り、ま、て、  
吉浦、よ、く、も、ま、ア、あ、ん、な、に、集、め、た、も、ん  
です、な、  
△、日、本、人、(系)、側、よ、り、等、ろ、フ、ラ、ジ、ル、人  
の、方、が、は、り、坊、つ、て、呉、れた、こ、と、は、い、ろ、い  
ろ、原、因、も、理、由、も、あ、る、で、し、よ、う、が、よ、い  
つ、た、で、す、ね、奥、地、御、訪、問、も、大、成、功、で、し  
た、バ、ス、ト、ス、へ、御、い、た、い、な、ん、て  
い、つ、て、も、一、寸、バ、ス、ト、ス、で、は、手、が、出、ま  
せん、ね、(笑)

Salão Marta Rocha <sup>バストス</sup> 産業組合となり  
美容院 マルタロツシア  
戸田ヨシ子



入植祭が近づきました  
髪容のお手入れは  
早くて丁寧なマルタロツシアへ  
おいで下さい  
新型カット モダンな束髪  
(コペラチーバのとなり)

三笠宮御来伯余談

バストス 西家の栄誉

今日の三笠宮兩殿下の御来伯は日系コロニアは勿論、伯國朝野をあつて、熱狂的大歓迎振りであった。その他重要なホストを勤めた三兄弟があるが、西静一氏の息子さんたち、バストス出身のチキキキである。二男、勲君は法学士、州議院の顧問弁護士、去る六月十八日、アニアガバウイ広場に於ける、デスノールの司会という大役をつとめた。このデスノールはピラケニンが体育協会が祭典に奉納（大々々）したもので、その豪華壮麗は十萬觀衆の目を眩はらせた。当日勲君は宮様に御説明申し上げた。光栄をなされた。（協合理事）として、三男の礼三君は州警兵騎兵隊より特に選抜され、隨行武官として同僚と共に、カシオスエリセウ宮に奉仕するの光栄を得た。さくところによると、州知事は日系將校を以て警備並に供奉を命じた由で、常時隨行長と同室で親しく宮様にお言葉をおいたのだというのである。四男、澄司君は、まだ学生であるが、C.P.O.R. (陸軍予備士官学校二年) から派遣され、コンゴニア飛行場に宮様が御着になると、祝砲係隊長として大砲発射の指揮刀をふるった。在聖の西三兄弟が揃って宮様に奉仕することのできたのは、ただに西家のみの栄誉でなく、三兄弟の出身地たる戎がバストスにとつても大きな誇りであらう。

バストス 梵真寺上棟式

皆さまで御承知の通り来る七月二十六日には東本願寺新門様大谷光紹師が、当バストスに御いでになりますので、それまでには皆さんのお寺バストス梵真寺を半分でも作り上げたいと急速に工事を進めまして、どうやら竣工に至りましたので、来る六月二十八日午後上棟式を行うこととなりました。祝酒の用意がございます。故どうを御参列下さいませ。

各位

バストス 梵真寺 世話人

優勝祝賀会 御礼

去る六月十八日支部対抗野球優勝祝賀会ヲ催シマシタ処左記ノ方々ヨリ多大ノ御寄附ヲ頂キマシタ紙上ニテ厚ク御礼申上ケマス  
アールト 青羊団 一同

金一封	アルト区 様
セルベージヤ 一俵	大賞 勝義
セルベージヤ 一俵	コチア友谷千九
セルベージヤ 一俵	水馬 久
グアラナー 一俵	鴨原 二郎
グアラナー 一俵	バル 藍 原
金五百クルセル 一俵	河西 静 雄
金三百クルセル 一俵	小橋 伝 知
金二百クルセル 一俵	安者 成 夫
金二百クルセル 一俵	西川 葉 局
金二百クルセル 一俵	バル アイハラ
金二百クルセル 一俵	松本 久 雄
金二百クルセル 一俵	安者 新 三
金二百クルセル 一俵	筒井 静 治
金二百クルセル 一俵	ベレアドール 西
金二百クルセル 一俵	渡辺 パウロ
金二百クルセル 一俵	崎田 春 一
金二百クルセル 一俵	黒川 三三男
金二百クルセル 一俵	渡辺 洗濯店
金二百クルセル 一俵	竹内 清
金二百クルセル 一俵	茂庭 喜 亮
金二百クルセル 一俵	佐藤 勇
金二百クルセル 一俵	森重 清
金二百クルセル 一俵	山芝 ひろし
金二百クルセル 一俵	木内 厚
野球用ボール 一個	
ホンカン 五箱	

過去帖作成御協力下さい

バストス梵真寺の備付過去帖を完備し、且つ特製掛軸に謹寫して本堂に安置し、日夜誦経永代経を上げるよう発表いたしました。今や願いの物故にお名前が果りました。来る七月二十六日御巡錫の大谷光紹様に特別お願をしまして、最初の永代経を上げさせていただきます。手配いたしました。居りますので、まだご存じないお方は、この際一日も早く、物故御家族のお名前を、おしらせ下さい。故の俗名 又、法名又は戒名 3 逝去年月日 4 行年歳 5 施主のお名前と郵便番号

各位

梵真寺 世話人 一同

バプストス教会に於ける  
日本移民五十年祭記念  
感謝慰霊のミサ聖祭に参列して

畑中仙次郎

六月十八日午前八時より標題ミサ聖祭  
が挙行されるので御参りするの光榮に浴した  
本日のみサ聖祭は特別に愛して居つたと思  
思えなかつたが、その時の雰囲気、私共の感  
じと云うものが全然異なるものであるように感ぜ  
られた。日伯人が共に歌い共に御祈りをし  
共に心からなる感謝の念を捧げるこの美し  
い行事は、どこにも見られぬ誠に崇高なる  
光景であつた。

祖国の歌日出する国「わが日の本の  
さきわい、恵みたまえ、あまの父、大君  
を守れ」とことわに「や日本聖殉教者を  
讃えた歌が、次々に日本語で合唱せられ  
司祭の日本人礼讃の挨拶を拝聴して居る  
内に不覚にも熱涙が込み上げてくるのどう  
することもできなかつた。

五十年は愚か、今から十年二十年の当時  
に於ては誰か予想し得たであろうか、特に十数  
年前の國粹主義の嵐はふぶき、大戦前  
後のあのけわしい茨の道を辿つて吾等の立場は  
實に惨憺として暗いものであつたが爾來隠忍  
自重何事にも堪えて日夜改々黙々とひた  
すら責務の遂行に邁進と大荷を諒らす  
遂に末だ賜物であらうか。今回は政府当局  
を初め新聞雑誌に於ても朝野を挙げて日本  
移民の功績をたたえられ、感謝せられて、吾等が  
面はゆい追の讃辞を受けける事は、誠にあ  
りかた極みであるが今静かに内に省みる時  
果してそれを償するであらうかを恐れるのである。  
何はともあれ今後は一層之を裏付け、之れ  
に酬いて就なまきよう、吾等の将来を益  
々光輝あつしめるよう精勵努力せねばならぬと思  
が、之れは全く容易ならぬことである。

司祭の挨拶の内口を極めて日本生れ  
一世も伯国生れの日系伯人も老いも若さ  
も力を合せ、御互いに仲よく助け合つて更  
に今後五十年偉大な祭辰を遂げられる  
ようにと力説されたが蓋し此の簡單なる  
言葉こそ今日の祭典に際して吾等に対するこ  
よなきはなむけであると思ふ、吾等は心  
して此のけなむけを頂戴し、之れが遺憾  
なき実行を期せねばなるまい。

想うに私共一世は、だんく鈴を重ね、やが  
ては此の世を去つて行かねばならぬ、今も既  
に二世の世代と移行しつつあるので、今後はそ  
の健全なる活動に待たねばならぬ。今日五十  
年間にかち得た此の実績、この信用を益  
々偉大なるものに築き上げてくれるのは  
吾等の二世三世に外ならないのである。か  
ら、たとえ吾等が一線から退いても、徹  
頭徹尾彼らが更に活動しやすきように仕

マキナ・シンゼル

MAQUINA de COSTURA SINGER

三シンをお求めの節は  
太郎田商店扱いのシンガー  
ミシンにおきめ下さい。  
値上げのおそれがございます。  
大至急御申込みねがいます。  
御支松に ついて  
四ヶ月以内に御支松になれば  
（現金）掛同様に扱います。  
十ヶ月以内にお支松になれば  
総額の一刻引と致します。  
十ヶ月以降以降納なされる方には  
残額の一刻引と致します。  
一番楽な月賦払いは  
五百円宛二十六ヶ月払です

太郎田商店の大奉仕

バプストス三十周年記念

何なりと御相談いたします故  
ご来店下さい

CONTRA NEMATODES

土壌殺菌剤 (土の中のバクテリアをこぼす  
くすり)  
西風 やさい、その他にのく  
ネマトイネをころしませう。  
SHELL D I D  
を御使用下さい

ALDRIN

土壌殺虫剤 (土の中で根元や根をこぼす  
くすり)  
アmendoin、西風などを煮出す  
ピシヨホーロ、ペルセベージョ、カスノーニヨ  
クレン、フォルミーガ、ラカルタ、カキニヤ  
シガリンニヤ、トリバ  
など色々な害虫には  
アルドリン をお使い下さい

訂正

先週報四二八号三十年祭寄附金発表誤植  
1 中央3組中、佐藤巖は佐野出徹のあやまり  
2 ウエーンII区 京野万治郎氏の上に組長とあり  
区長のあやまり  
右訂正いたします

# Deposito de Lemka



よいレンニアが  
たくさん、とれました。  
よむいときはレンニアに  
かぎりあります

御申越し次第お届けします

テイステンベンベロ街

小沢

向けて彼らの行く手を阻むことのないように努める義務がある。それがためには彼らが日本人のよい性格素質をこまめに、失うことなくブラジル社会に於ける一員として恥かしからぬものを身につけた優秀な人物を養成せねば決して将来の大をなすことはできぬ。これには家庭は申すに及ばず、学校教育と宗教心の涵養を深める三位一体に力を注がねばならぬことは今更申す迄もあるまい。

当地教会に於ても国籍や人種の如何に係らず四海同胞渾然一となつて神の教を説き、人の道を教えらるれば、特に青少年の教化に力をさして居ることは、ありがたい次第であるから此の点吾等一世のカトリック信者でない者と云へども吾等の子弟が日々世話にならず居る事實を卒直に理解し、教会の存在をハッキリ認識せねばならぬと痛感する。由來ブラジル人には寛容の美德の高い人が多いが、之れは一つには国民性にもよるが、又カトリック教の感化も大きなものがあると思ふ。吾等一世は年を重ねるに従い、やみがたい郷愁の念が益々盛り上つてくるのは人情である。然るに此のやみがたい郷愁と云ふは、独りこれに耽らねず吾等子孫の繁栄のために彼らがブラジル人として必要欲くべからざる高い教養を身に備えるよう常々留意せねばならぬことは前述の通りであるが、今日特別ミサ祭に参列して今日追長い間受けてきた御恩や御志を神に感謝し奉ると共に、我が教会は青少年に對しても、こよなき修養道場であることを今更の様に感じたのである。

本日は日本移民五十年記念日であると共にわが移住地にとつても開拓記念日に當る。私共は一層意義深く感じたのである。八月十八日の記念祭に於て特にながれ移住地三十周年記念祭のミサ祭が捧けられる由である。

その日は更めて三十年祭を御祝いし、永年受けた救々の神の御志みを感謝致し、併せて中途故人となられた諸英霊に對しても萬腔の謝意を奉り各うけき永遠の憩いを祈りする機会を与えられることを今から大いに待ち上げて居る次第である。

(一九五八、六月十八日)

## Bar e Sorveteria Yaquiura Irmãos



イルモンズ

鮮魚と製氷

シネマカン上隣り  
シネマカン上隣り  
シネマカン上隣り



PREÇO

セルベージヤ	48	入	五六	より
カアラナー	72	入	二一〇	より
ソジンニア	72	入	一八〇	より
ピンガ	48	入	四〇〇	より
モルタネーラ	キロ	三	八	より
シガロ	25	一	〇〇	より
マンティガ	キロ	一	五〇	より
サルジンニア	キロ	一	五	より

ヤギウラ鮮魚はカザメント用として好評があります。カサメント御用の場合は特に御相談申上ります。大皿小皿コンス貸出し

法律上のことで聞きたいこと？

何か法律上のことで、さきたいことはありませんか？ 土地売買のこと、金銭貸借のこと、戸籍のこと、何でも、おたずね下さい。無料でご返事します。但し書面作成をしたり、エスタンペリア入用の時などは実費をいただきます。

宛名 液部カズオ

Departamento Jurídico do

Centro Acadêmico 11 de Agosto

Rua QuinTimo Bocaiuva, No. 255

5º AND. SÃO PAULO

(液部君はカスカッタ液部を助老の二男坊さん法大生)



Nossa Relojoaria

Relogios Joias Oculos Cametas

PRESENTES e MAIS PRESENTES NA NOSSA RELOJOARIA Av. TAMOIOS, 785 TUPÃ

時計と貴金属は信用絶大な

ノッサ時計店



五十年前の話

井上生

同県人(玄島)西本さんが日本訪問されるので去る六月廿三日見送りかてら挨拶に言った。そこでふと思ひ出したのだが、行くと訪日の思出がある。大正元年九月のことだから、赤い分古の話を四十七年のある日、学生上りの四人連れで桑港出帆の音が、九月の四日、明治天皇がおかく大正元年九月の四日、明治天皇がおかくれになつた明治四十五年が改元された事だ。横濱へ着くと上陸第一に正金銀行へは二十円金貨で百二枚あつた。いや外に四角内も少々日本紙幣もあつた。これ大金であつた。金貨を持って行ったのだが、悦んでくれると思つた。あにはからい奴だ。と行員めつ馬鹿だ。と面倒く一枚一枚裏面を検査し、それから百二枚を秤にかけるんだ。そして言うことに、二十銭不足して居ると文句だらけ。やと紙幣を渡してくれた。今でも訪日となる。と、伯貨でドルを買つたり日本金に替えたり面倒なことだ。

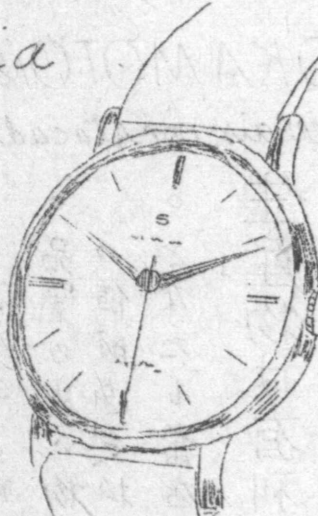
とア東京見物だというので宿から雇いの人力車で車上にふんぞり反つて、やれ上野の動物園だ浅草の観音様と見物して歩きた。早くも五日たつてしまった。車賃は一日一円五十銭の約束だった。中食は宿から行く先の一週間の予定だった。中食は隔日に行くと、日本橋だった。と、かく隔日の見えあるある料亭だった。中食の時二時間休むことにして居た。まだ残暑のさびしい時だから、一風呂浴びなさいといわれ、浴敷の縁隅に西風に砂糖がかけたり、置いてある。早速食べたところ、女中さん曰く「お客様、蟻取りの西風です。この時のは、一同さやふん、冷汗三斗とは、出た。あ、もう見物はやめた。出た。お茶を」  
 百円のおさいせん  
 京都見物の時は、停車場前の鶴屋本店に陣取り洋行帰りで、もてもて参考し、大いに西本願寺におまいりした。お賽銭は十円で、お賽銭の一人が、エラ相にパンパツしたところ、しまった今

のは十円ではない、百円札だった。何とかなりんものかと思案したあけく、四人そろって麻婆湯へ行つて、実はかくかくと相談した。そこ坊さまが云うには、百円札が一枚ならはあなただのものを、と、箱を開いてしうへてくれた。たか信は「恐ろしい、この当時の大金百円が何と四枚も五枚もててくるではないか。これに、一同赤面して、坊さんに何度も頭をさす。あ、あ、あ、見物も参考も、お茶の旅行をやつたのも今は昔、思ひ出すとおかしくてもたまらぬない。(筆者は井上生)

ほととぎす三月巻頭句  
 学士会聖樹をともす吾等粗餐 山口青郎  
 大学を出た人たちで組織している学士会でクリスマスを祝つて、クリスマスツリーを樹て、モールを飾りロソクをともした。その部屋でクリスマス晩餐を、学士会の人達は、たべたのだが、ごちそうは、ほととぎすの言葉であつたという句意である。経戦当時で、食生活の充分でなかつた頃のほととぎすの言葉であるが、或は、学士会、クリスマスなと華やかな感じの中へ逆に、学者達化、ますしさを投じて、意表をついたのかも知れない。今でも金銭手ついで、ほととぎすの言葉で、新い分野を拓いたものといえる。感覚、表現ともに奇抜である。ほととぎすの、ほととぎすの問題となる句のように思われる。(筆者)

Relojoria

ツパンへおいで  
 の節は休息ながら  
 御立ちより下さい



T. NAKAMURA

時計、腕時計  
 中びわ、アリアンサ  
 腕輪、楽器るい

Confiança TUPA

古くから  
 みなさまに  
 信用  
 いただいて  
 居ります

ツパン市乗合自動車発着所前

中村時計店

あなた方は有権者 (完)

読者文化研究会より  
系音

むすび

ポットをすることを国民の義務であるし又大衆名譽なことです。私は面倒だからポットなどに行かないなどという人は馬鹿か、わからず屋です。旅先からポットのためにわざわざ帰ってくる人が正しい立派な国民なのです。

数年前こんな話がありました。カボク口と仇名される部落の人たちです。カンジカットしてゐる方からカミニオンで皆を迎えにいっただころ、靴がないから所へ行くのはいやだといふので五、六十人の人に靴を一足ずつフレゼンテして、ポットに靴を一つずつ相です。ポットは金で買ったリ、フレゼンテで買収したりしてはいけないのです。シチチから出て来た人にかろーをのませたり、アルモッサをこちそうする。これも、ほんとうは、いけないのですが、オアその位のこととは大目に見られてゐるようです。

日本ではもと買収といつてポット一票いくら出すからオレの方へ入れてくれなどとたのみにされたことがありました。向うが、いくら出すなら、こちらもその倍をさう、などと、いってネゴシオをする時代も、あったほどです。

そういう政治家が出たり、そういうシンキヨをして居る内は、とても、まじめな政治は行われず、政治家になつて十年位は、く、いてゐるうち大金持ちになつたなどというものは、政治のくさつてゐる証拠であります。

来事行われるベレアドールのセンキヨには、直接われくが住んでゐるバストスをよくする人を選んでは下さい。

本年行われるネフタードたちのことは、よく政治のわかる人の話をきいて参考にするのもいいし、又、直接同接バストスのためになる人、農業者のためになる人、を選ばしよ。

尚、日本の天皇制について時間はいは、話して見てくれとの注文が幹部の方からありましたが、あまり話のフロシキをひらけおぼろしと、しまい結ばなくならぬと困るし、又、この問題は一寸天を救しく、かんたんにしてはわけの判らんことにもなりかねない、ので又別の機会にゆつゝと致しします。

ではさようは、この辺で一応話を終ります。

この速記でも原稿でもありません。たぶんこんなことをしゃべつたであろう。記憶を綴つたものですから、多少ぬけてゐるところや増えてゐるところもありましょう。

I. OKAMOTO & CIA. LTDA.

Cereais por Atacado e a Varejo

お任せ致しました  
アランドイン 購入

開始いたしました

。多少に拘らず是非御出荷下さい。サッコ用意してあります。品質の良い物でししたら特別の値段を支払います。となたも當店を御利用下さい。

生産物は有利に、そして現金で販賣いたしましよ

最上等で安い白米

直輸入リオスランテ産白米(カテテ) 値段は聖市の卸値を差上げます 多少に拘わらず御用命下さい。

聖市カルロス、ガルシア街 六五  
バストス市オウルス街角  
(藤原商會)  
岡本商會

農産物売買

入植祭俳句會について

來會者へおしらせ

か初て三十年祭フロクラマの中に俳句會が六月十八日とマルカされて居りますが、当日は諸行事のため手廻りがねますので

六月十九日午前九時

と変更いたします、時間厳守

兼題 火車、毛糸あむ、大根、冬ぶれ (通いて八句) 席題なし

場所 週報社サロン(主催仙人掌社)

入植祭短歌會

六月二十日午前九時 開會

いつものように第二日曜ではありません 第三日曜です。おまちがいないうら

場所 週報社サロン

社吟五首御持参下さい  
主催 バストス短歌會